

薫風

～緑新たに風も薫れり～



発行元 東京都立大崎高等学校全日課程 〒142-0042 品川区豊町2-1-7

東京都立大崎高等学校長 白井 克昌

1 大崎生の活躍

大崎生が昨年から今年にかけて活躍した行動を紹介します。

- 「税に関する高校生の作文」で荏原税務署から、3年生の飯島みらいさんが表彰されました。政治・経済の課題として取り組んだもので、税に関するニュースや身近な税の話題について考えたことが非常によくまとめられていました。
- 次世代リーダー育成道場に参加し、1年間のオーストラリア留学を終えて、3年生の佐藤菜美さん、辻美理さんが帰国し、留学後の報告を全校生徒の前で発表し大きく成長した姿を見せてくれました。
- 男子バスケットボール部は、新人大会で5回戦まで勝ち進み、1月10日(日)東京都高等学校男子バスケットボール新人戦本大会に出場しました。全国優勝の実績のある強豪校の東洋大京北高校と対戦し、結果は負けましたが健闘しました。2年生の男子バスケットボール部員鈴木駿くんが支部選抜選手に選ばれ、2月の支部選抜大会に出場します。今後の部の更なる飛躍を期待します。
- 硬式野球部員の1年生の木下晴くんが人命救助に貢献しました。近隣の飲食店のお客様が心肺停止となり、近くの警察署から店員さんがAEDをもっていく途中に、通りかかった木下くんが上級救命の資格がありますと言って、進んでAEDの補助をしました。大変勇気ある素晴らしい行動です。



2 修学旅行(2学年)を実施

2年生の修学旅行in沖縄が1月13日から16日まで3泊4日で実施されました。沖縄の自然、歴史・文化に触れるとともに、沖縄戦を通して平和について考え理解を深めることができました。また、民泊体験を通して、沖縄の農漁村独特の生活文化に触れ、人とも絆の大切さや自然との関わりについて体験的に学ぶことができました。

特に、平和学習では、ひめゆり平和祈念資料館や沖縄平和祈念公園、糸数壕の体験を通じ、生徒一人ひとりが戦争と平和について深く考え、平和の尊さを実感することができたと思います。

もともと沖縄は、赤いハイビスカスの花が咲く、武器のない、平和な美しい島でした。しかし、太平洋戦争の末期、昭和20年3月、沖縄に米軍が上陸して沖縄戦が始まりました。日本で当時行われた最大規模の地上戦です。その悲惨さは言葉になりません。

民泊体験では、東村を中心とした近隣の村の家庭に宿泊しました。パイナップル畑で苗を植える作業をしたり、タコライスを作ったり、沖縄伝統の三線を教えてもらったりするなど村の方々と深く交流することができました。離村式では別れを惜しみ涙する生徒もいて大変感動しました。



平成28年度都立高校入学者選抜等に伴う時程の変更について(お知らせ)

平成28年度都立高校入学者選抜、3年生の卒業判定会議、学年末考査のため3学期の授業予定は、複雑になっております。ここで改めてご連絡させていただき、ご留意いただけますようご案内申し上げます。

月 日	時程等	事由
1月25日(月)	臨時時間割 3時間授業+清掃 13:00 完全下校 部活動禁止 以降自宅学習	推薦に基づく選抜準備日
1月26日(火)	生徒休業日(登校禁止)	推薦に基づく選抜
1月27日(水)	生徒休業日(登校禁止)	推薦に基づく選抜
2月 3日(水)	午前中授業	卒業判定会議
2月23日(火)	臨時時間割 3時間授業+清掃 12:30 完全下校 部活動禁止 以降自宅学習	第1次募集(学力検査)準備日
2月24日(水)	生徒休業日(登校禁止)	第1次募集(学力検査)
2月25日(木) 26日(金)	生徒休業日(登校禁止)	学力検査採点作業
2月29日(月)	<u>振替休業日(3月5日分)</u> (登校禁止)	学力検査選抜作業
3月 4日(金)	学年末考査 始め(1日目)	
<u>3月 5日(土)</u>	<u>学年末考査(2日目)</u>	(2月29日振替分)
3月 7日(月)	学年末考査(3日目)	
3月 8日(火)	学年末考査(4日目)	

全員合格を目指そう！！

国語科 新妻

本校では、本年度2回目の漢字検定が、**2月5日(金)の5時間目と6時間目**に行われます。今回の漢字検定は、1、2年生全員の受検となります。この検定に向けて、1、2年生ともに、冬休みの宿題や3学期の週末課題、朝のショートホームルーム前の漢字学習など、この冬は漢字漬けの毎日を送って頑張っています。

漢字の学習はとても地道で根気を要する作業ですが、語彙力を身につける上で非常に大切な学習です。正しい漢字を身につけ、たくさんの言葉を使いこなすことができるようになると、社会に出たときにしっかりとした書類や報告書を書くことができます。また、近いところでは、3年生の進路決定時、小論文や志望理由書を書く際に、より良いものが書けるようになるはずで、大学入試の小論文や就職試験の作文において、誤字脱字はもっとも嫌われますので、漢字検定の勉強を通してしっかりと語彙力を定着させるよう生徒には期待します。

大学・短大入試が多様化している現在、学科試験の成績だけではなく、取得している資格でも受験生を評価する大学が増えています。2014年度には、入試の評価に漢字検定を活用している大学・短大は全国で486校あり、実に45%の大学・短大が、漢検取得を能力評価・人物評価といった基準の一つにしています。また、専修学校で325校、一般企業で453社が入試、採用試験で漢字検定を評価材料としているそうです。これは、今問題となっている若者の基礎学力の低下について、大学も会社も非常に心配しているということの表れだと思います。

読み書き算盤(そろばん)と言いますが、正しい漢字を読み書きできることは、とても大切な基礎学力です。生徒にとっては、勉強は苦しいですが、こつこつと努力して、合格を勝ち取りましょう！残り2週間という期間しか残されていませんが、推薦入試に伴う自宅学習の日が2日間ありますし、ラストスパートをかけて、ぜひ全員合格を目指しましょう！！